

一般質問・質疑

12月8日、9日、10日の本会議では、17人の議員が質問に立ち、中学校給食や介護保険事業、泉市長の政治姿勢などについて、市の見解を求めました。

なお、発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は2面から5面に掲載しています。

発言者一覧

— 発言順 — () は会派名
※所属会派は12月22日現在

松井 久美子 (公明党)

- ①海や港を生かしたまちの活性化 ②明石駅前再開発ビルの明石駅前窓口 ③災害時の避難場所の周知

穂原 成人 (真誠会)

- ①中学校給食 ②生産緑地制度 ③空き家条例 ④敬老会

樽谷 彰人 (政和会)

- ①財政健全化の取り組み

遠藤 恒司 (市民クラブ)

- ①地方創生事業の具体的な施策 ②コミュニティ行政と自治会のあり方 ③公有財産のリサイクル ④本市の就農制度の取り組み

新田 正彦 (次世代明石)

- ①こどもの貧困対策検討チームの設置 ②生活困窮者自立支援法を実効性あるものに

尾仲 利治 (民主連合)

- ①子どもたちが生き生きと学ぶことができる環境をつくるために ②市内の園場整備事業の進捗状況

辻本 達也 (日本共産党)

- ①泉市政の評価と今後 ②中核市 ③明石駅前南地区市街地再開発事業 ④中学校給食

国出 拓志 (公明党)

- ①市役所内の保育施設設置 ②任期付職員の給与体系 ③手話言語条例 ④後見支援制度の充実 ⑤総合福祉センター ⑥合葬式墓地

寺井 吉広 (真誠会)

- ①大久保地区のまちづくり

出雲 晶三 (政和会)

- ①山陽電鉄連続立体交差第2期事業 ②明石川の治水と防災の問題点 ③(仮称)東部中学校給食センター及び(仮称)西部中学校給食センターの新築工事の進捗状況と取り組み方針

永井 俊作 (市民クラブ)

- ①民間委託と貧困・格差の拡大等 ②西明石活性化プロジェクト ③介護保険の要支援1・2の訪問介護と通所介護を市が担うこと ④教育環境の整備

中西 礼皇 (次世代明石)

- ①第5次長期総合計画に沿った市政運営 ②文化博物館の管理・運営体制の見直しと指定管理者制度のあり方 ③泉市長の政治姿勢

西川 あゆみ (日本共産党)

- ①介護保険 ②子ども・子育て支援新制度

北川 貴則 (市民クラブ)

- ①福祉のまちづくりと税金の使い道 ②広域行政との連携 ③中学校給食 ④泉市長の政治姿勢

木下 康子 (次世代明石)

- ①危険ドラッグ等から市民の命を守ること ②地域のまちづくり ③災害活動における仮設住宅の入居者支援の対策 ④介護保険事業

辰巳 浩司 (朋志会)

- ①明石市の活力向上と新年度予算編成 ②明石市中心市街地活性化への取り組み ③明石焼を活用した明石の魅力発信の取り組み

千住 啓介 (日本創新党明石)

- ①未制定である明石市住民投票条例 ②中学校教科書採択

B-1 グランプリ5位入賞

明石焼を東北へ

元気づくりにつなげよう

問 平成26年度B-1グランプリでは、あかし王子焼ひろめ隊が過去最高順位となる5位入賞を果たした。

答 27年度のB-1グランプリは、青森県十和田市で開催される予定で、それに先立ち、地元テレビ局や新聞社な



ふわとろアツアツでおいしいよ

どのメディアを対象にした明石焼の宣伝活動を行うことを考えている。また、東北方面で明石焼を取り扱う店舗に、明石焼のポスターの掲示を依頼することや、27年度にイタリヤのミラノで開催される国際博覧会に兵庫県が出席することから、本市も連携して取り組むことも検討している。

また、27年1月に兵庫県東部地区から20年の節目を迎えることから、震災復興の応援協

問 本市における危険ドラッグの実態と市の対応について聞く。

答 危険ドラッグの規制については、国において販売や広告に対する法規制が強化されており、兵庫県でも平成26年10月に危険ドラッグの販売や使用を制限する条例が制定されている。県が把握したところでは、現在、明石市内に危険ドラッグの販売店は確認されていないが、周辺市には存在

問 泉市長には中学校給食や住民投票制度など実現できていない公約があるが、これまでの

答 3年半の評価を問う。本市は、泉市長の就任以降、こども、地域、安全をキーワードとし、正しい知識の普及に努めている。今後も関係機関と連携しながら、成人式など市主催のイベントをはじめ、学校教育、防犯、交通安全の啓発キャンペーン等、さまざまな機会を通じて啓発していく。



身近に潜む危険ドラッグ

絶対にアカン危険ドラッグ

販売等の規制強化進む 薬物乱用の防止を啓発

問 平成27年3月議会に

住民投票条例

3月議会への提案見送り さらに検討重ねる

予定していた住民投票条例の提案を見送った経緯と、定住外国人に投票資格を認めるとした検討委員会の答申に

市民目線での市政運営を進めてきた。具体的な施策として、こどもという視点からは、子ども医療費の無料化、待機児童解消のための保育所分園の開設、幼稚園での預かり保育の実施などを行った。地域、安全の視点からは、身近な地域での支え合いやつながりを強化するため、協働のまちづくりの基礎づくりを行うとともに、犯罪被害

答 住民投票条例検討委員会の答申は丁寧な議論を重ねたものであり、尊重すべきであると認識している。また、定住外国人の投票資格を認めることについて、検討委員会では、住民投票は市の政策を決定するものではなく、住民の意思を確認するために用いられるもので、同じ地域で生活し、地域活動にも参加する定

者等の支援に向けた取り組みを行った。さらに平成26年度はキーワードに元気を加え、幅広い世代が運動を楽しめる多目的広場を大蔵海岸に開設した。こうした未来に向けての施策を着実に展開する一方で、厳しい財政状況の中、市民の要望に対応



3年半の成果を述べる泉市長

住外国人も含めて広く意見を聞く必要があるとの考えで一致した。市としては、住民投票は市政の重要事項について住民が意思表示を直接行う大切な制度であり、答申を基にさらに議論し検討する必要があるとの考えから、3月議会での提案は迅速と判断した。今後も検討内容を市民等に丁寧に説明し、意見を聞いた上で条例制定を目指すしていく。

するため市役所改革や財政の健全化も進めているところだ。